

多くの自治体では、予算は予算特別委員会が構成され、何日もかけて集中審議をします。
市長側も、課長レベル直接の予算編成者が出席して説明する場なのです。
何しろ、今回は、一般会計で517億円、
特別会計も合わせると976億円。これまでの5割増しにもなる膨大な額です。

また、市と3町では、さまざまに制度もやり方も違う点もありますし、
渡船事業など、市にはなかった企業会計もあるなか、
大急ぎで進められた合併ですから、十分なすり合わせが出来ているか？
3町でも良い政策が消されてしまっていないか？
バランスの良い予算配分になっているか？
に注意しながら、
3000近くに及ぶ事業が、どのように組み立てられているか
詳しい説明を求め、その是非についても質す場、
いわば、今、議員としての一番の働く場なのです。

どうぞ、傍聴に来て下さい。市民の関心がないままでは、
市長の「思うつぼ」。合併して、どうするのかを聞いて下さい。
もっとも、
こういう時こそ、平日の真昼間じゃなくて、夜や土日に議会をやるのですが、
賛同者は少数なのが悔しい限りです！！

それと、もう一つ。
半数の議員が、今予算の審議を軽んじ「議論を望まない」でいるのが問題。
今回、
半数の議員が「予算特別委員会」の設置。全議員での審議を求めたのに、
清明会・新生西尾の2会派が反対。
これまで通りでよしと、決めてしまいました。

従前の審議では、3常任委員会の担当別に予算を分割するので
自分の所属委員会の分しか質疑ができません。

委員外議員としての質疑はできますが、正規委員の発言がすべて
済んでからしか認められないので、議論形成には至りません。

決算の時はいつも「決算特別委員会」を設置するので
予算も同じにすればよいだけなのに、なぜ、両会派が「いやがるのか」
私には、さっぱり判りません。

「合併後、初の予算なのだから、十二分に議論し、審議する責任」
があるはずなのに、
議長はじめ多くの発言のはしばしに、簡単に短く済ませようという意図が
感じられて、憤りを覚えます。

特に、3町の議員は、この予算審議には参加しないことになっているのです。
私は、意見交換位はあってもいいのにとおもいますが、そうした機会も
ありません。
3町では、何が問題か、どういう点に配慮してこれまでの予算を考えてきた
のか、相互に理解し合うことこそ、新市住民のためだと思うのですが…。
面子ばかりにこだわって、実を求めようとしない世界なんだなあと、
私は、しみじみ、こういう時に感じます。

とりあえずの私の対策としては、記録が残っている一色町と幡豆町の
昨年決算委員会議事録を読んでおこうと思っています。

先日の朝日新聞では、「全国の議会の働きアンケート」が載っていました。首長のいいなりで「イエスマンばかりの議会」が多いこと多いこと。そんなことから、名古屋市の市議会リコールが通るんだ！と言われます。何とも情けない話。でも、その数字を見れば納得せざるを得ない現実でしょう。

「西尾市議会がアンケートにどう答えたか」は、次の機会に、また。

なお、3常任委員会の日程は各10時から。7日(月)に経済建設委員会・9日(水)厚生教育委員会・10日(木)企画総務委員会(規子所属)です。